

おおたわら市議会 防災訓練

平成27年8月31日（月曜日）

タブレット端末による災害時の情報収集・伝達訓練



【実施場所】

大田原市議会棟第1会議室

【訓練参加者】

大田原市議会議員 24名

議会事務局職員 6名

【執行部参加者】

市長、危機管理課長

【目的】

現在、議会においてはタブレット端末の使用により本会議や委員会でのペーパーレス化の推進を図っています。更にタブレット端末のメール機能や位置情報確認機能（GPSが内蔵）を活用し、災害発生時の災害情報の収集・伝達手段として訓練するものです。

訓練当日は、災害時を想定し、議員の安否確認や災害情報収集など、災害情報収集・伝達訓練を実施することとします。

これによりタブレット端末の多角的な利用を検討するとともに、今後も積極的にICTを活用し、災害に強いまちづくりを推進するものとしていきます。

【被害想定】

台風の接近により、雨が降り続き大雨・洪水・暴風警報が発表される。大田原市全域で激しい雨が降り続き、さらに時間雨量100mmの豪雨となる予報と土砂災害警戒情報が発表される。市内全域で土砂災害・河川氾濫の危険性が高まったため、市は災害対策本部を設置し市内全域に避難準備情報、避難勧告を発令した。

議会においては、市災害本部への情報の提供を行うため、午前11時に議長、副議長、議会運営委員長、常任委員長及び会派代表者の協議により大田原市議会災害対策本部を設置した。午前11時30分に、本部長からの指示で全議員に安否確認及び参集メールを配信した。



市議会災害対策本部長が災害現場で待機していた事務局職員とテレビ電話で現場状況を報告を受けている様子

【訓練内容】

① 安否確認及び参集メールの受発信訓練

タブレットのメール機能により、議員へ一斉メール送信を行い、議員の安否確認を行うとともに、午後1時までには本部（議会棟第1会議室）へ集合するようメールを送信する。



各議員が撮影した写真を説明

② 情報収集訓練

タブレットの位置情報確認機能を活用し、議員は居住地周辺の災害発生現場（又は発生の恐れのある場所）の写真を撮りメールに添付し本部へ送信する。送信後は速やかに本部へ集合する。本部においては、各議員から送信された写真を、プロジェクターによりスクリーンへ投影し、合わせて地図情報により撮影場所の確認を行うこととする。なお、当日は、写真を送信した議員から、写真の撮影場所、状況等について解説をお願いするものとする。



実際の災害対応についての質問

③ テレビ電話機能を利用した現地との中継訓練

タブレットのテレビ電話機能（フェイスタイム）を活用し、現地と本部とにおいて生中継を行い、現地からの生の声と中継された動画をスクリーンへ投影する。



津久井市長の講評

編集委員 議会広報広聴委員会
 委員長 大豆生田 春美
 副委員長 高瀬 重 嗣
 委員 鈴木 央 高木 雄 大
 黒澤 昭 治 高野 礼
 中川 雅 之

市民に開かれた議会と
 一層の議会改革を目指して